

Windows XP アウトLOOKの場合

エクスプレスの場合

最初にする作業
USBメモリや外付けHDDなど、メールのバックアップを保存する機器に、あらかじめフォルダーを作っておきましょう。そうすれば3つのファイルをひとまとめに整理できます。

バックアップする

2 アドレス帳(連絡先)

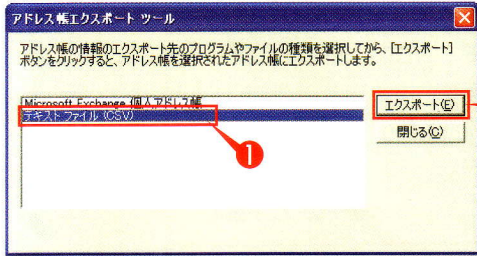


図4 OEで [ファイル] → [エクスポート] → [アドレス帳] の画面で① [テキストファイル] を選び② [エクスポート] をクリック。



図5 ③ [参照] をクリックして、バックアップ先のフォルダーを選択し、適当なファイル名を入力。④ [次へ] をクリック。

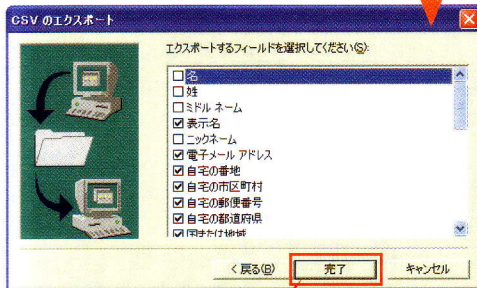


図6 バックアップしたい項目名にチェックを入れ、⑤ [完了] をクリックする。使用していない項目は空白になるので、わざわざチェックを外す必要はない。

1 送受信したメール

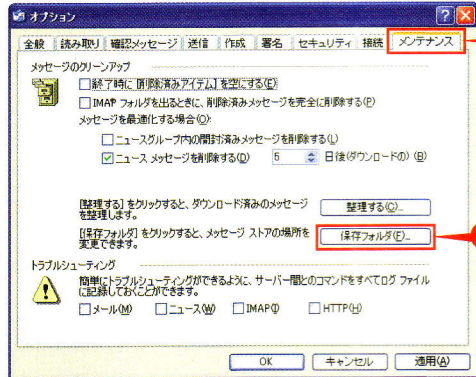


図1 OEで [ツール] → [オプション] をクリック。① [メンテナンス] タブで② [保存フォルダ] をクリックし、「保存場所」ウィンドウに表示されているフォルダーのパス名をコピーする。

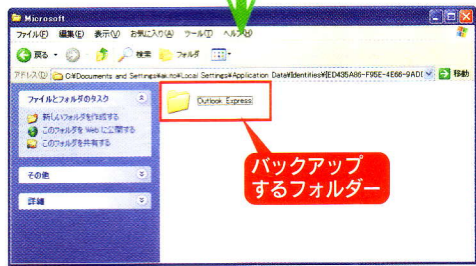
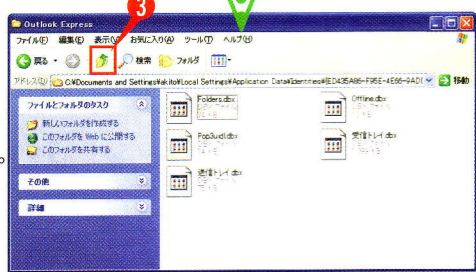


図3 「Outlook Express」フォルダーが表示された。これが、送受信したメールが保存されているフォルダー。このフォルダーを、外部ドライブにコピーする。

3 アカウント設定

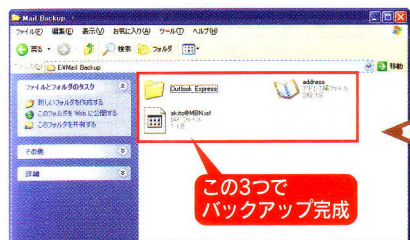


図9 ここまでの作業で、外部ドライブのバックアップ用フォルダーに、フォルダー1つとファイル2つがコピーされていれば完了だ。

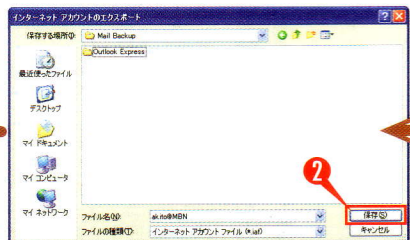


図8 「保存する場所」で外部ドライブのバックアップ先フォルダーを選び、適当なファイル名を入力して② [保存] をクリックする。

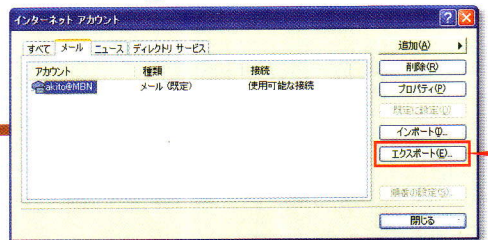


図7 OEで [ツール] → [アカウント] をクリック。この画面で、バックアップしたいアカウント名をクリックして選択し、① [エクスポート] をクリックする。

2 アドレス帳(連絡先)

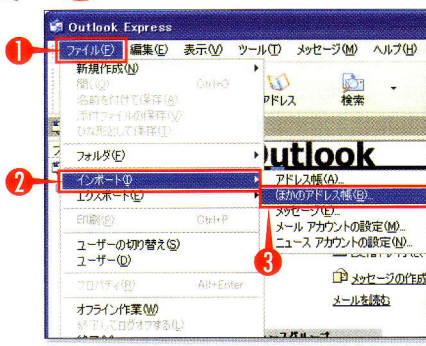


図13 OEを起動して①[ファイル]→②[インポート]→③[ほかのアドレス帳]をクリックする。「アドレス帳」画面からの操作でない点や、[インポート]→[アドレス帳]ではない点に注意。

1 送受信したメール

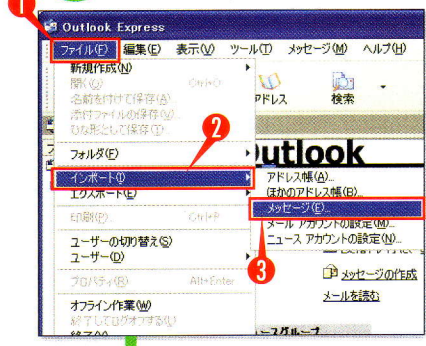


図10 OEを起動して、①[ファイル]→②[インポート]→③[メッセージ]をクリックする。

復元する

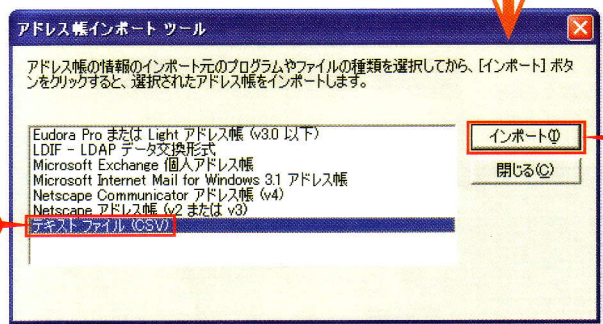


図14 ④[テキストファイル]を選択して⑤[インポート]をクリック。次の画面では、[参照]でバックアップファイル(【図5】)を選択し、[次へ]をクリック。

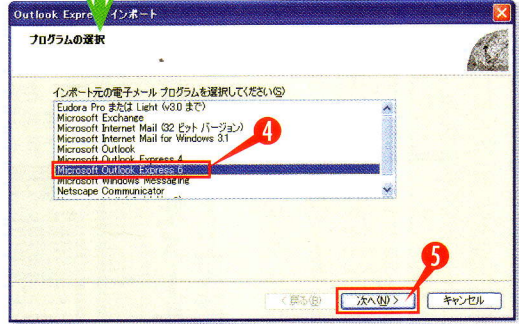


図11 ④[Microsoft Outlook Express 6]を選択して⑤[次へ]をクリック。次の画面では[Outlook Express 6ストアディレクトリ...]を選択して[OK]をクリックする。

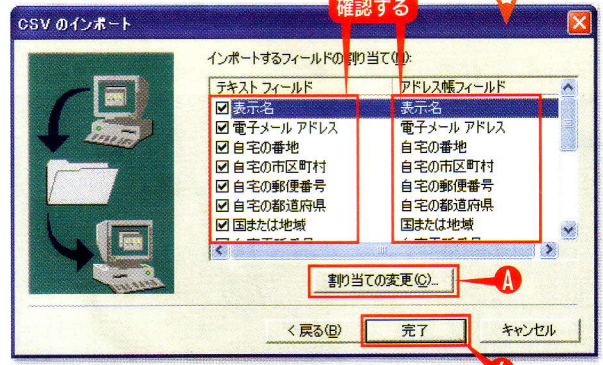


図15 読み込む項目(フィールド)にチェックを入れ、「テキストフィールド」と「アドレス帳フィールド」が一致していることを確認。一致していない項目はA[割り当ての変更]で修正する。⑥[完了]をクリックで完了。

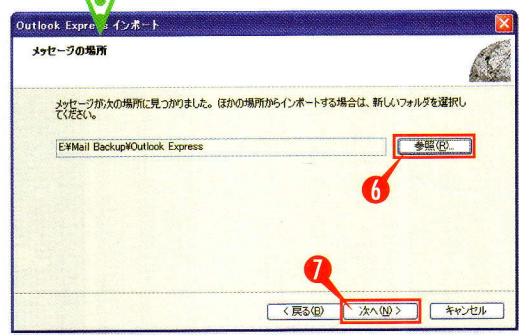


図12 ⑥[参照]をクリックして、【図3】でバックアップした「送受信したメール」のフォルダー(「Outlook Express」フォルダー)を選択する。⑦[次へ]をクリックすると、読み込みが始まる。

3 アカウント設定

図18 アカウント設定が追加される。念のため[プロパティ]をクリックして、目的のアカウント設定が読み込んでいるか確認しよう。

図17 ③[インポート]をクリック。次の画面でバックアップ先のフォルダーのアカウント設定ファイル(【図8】)を選択し、[開く]をクリック。

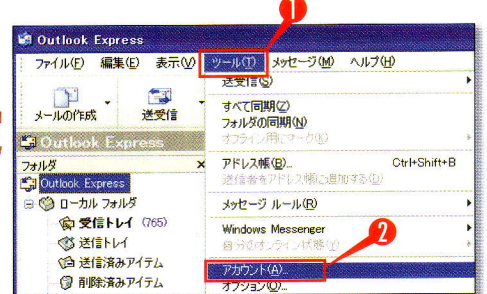
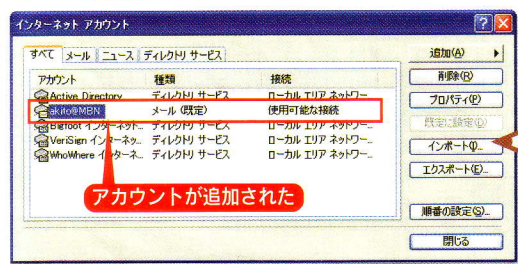
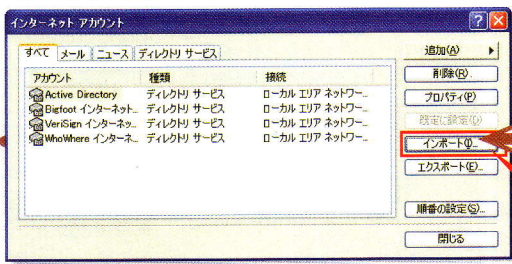


図16 OEを起動して①[ツール]→②[アカウント]をクリックする。



アカウントが追加された



3